

校長室だより

No. 14

平成29年7月13日(木)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ
加藤嘉一

夏休み読書のすすめ ーぜひ図書室の本の活用をー

今週から、これまで貸し出ししていた図書室の本を一度回収し、来週から夏休みといった長期休業のための本の貸し出しを始めます。書店で売られる新刊図書もよいと思いますが、図書室にも素敵な本がたくさんあります。



図書室では、毎年新刊本を購入し、お勧めの本や、子供たちの興味をひく本を入れてあります。本校では、図書室の充実、読書活動の推進のために、教員補助者の熊谷さんと伊庭さんが、本屋さんのように「今月の読書」や「あたらしい本」コーナーを、工夫を凝らして子供の興味がわくようにしてくれまます。先日の図書委員会の集会では、子供たちが読んだ中からお勧めの本を紹介していました。

月・火・水の朝に設けている読書タイムや読み聞かせの時間に、子供たちが楽しそうに本を読んでいる姿を見ると、やはり本の楽しさを感じている様子が伺われます。きっと想像する楽しさ、新たな知識と出会う楽しさにひたっているのでしょう。もちろん、読書にはことばの世界を広げ深める効果があるので、わたしたちは、国語の授業を通して、そしてふだんから読書で得られるよさを伝えています。本を楽しんでいる子供は意識してないと思いますが。

学校では読書の価値を伝え続けます。家でも本を読む姿を見せ、「〇〇という本はおもしろい」「□□という作家が好き」などと話してくれるとうれしく思います。夏休みは、家族みんなで子供に読書のよさを知らせてほしいと思います。

夏休みの課題図書紹介 (青少年読書感想文全国コンクール)

【1・2年生】

「ばあばは、だいじょうぶ」楠 章子 「なにがあってもずっといっしょ」くさの たき
「アランの歯は でっかいぞ こわーいぞ」ジャーヴィス 「すばこ」キム・ファン

【3・4年生】

「くろねこのどん」岡野 かおる子 「空にむかってともだち宣言」茂木 ちあき
「耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ」 「干したから…」森枝 貴士

【5・6年生】

「チキン！」いとう みく 「ぼくたちのリアル」戸森 しるこ
「霧のなかの白い犬」アン・プース 「転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由」臼井 二美男

できないことをできるまで ー山の学習での学びー

7月6日（木）、お昼少し前に少年自然の家の川の畔に到着すると、「ジージージー」と、今夏初のセミの泣き声に出会いました。2日前の大雨を感じることもない澄んだ川の流れを目にし、山の活動への期待が膨らむ始まりでした。

今回の山の学習を通して、5年生の先生たちは「できなければいけないことをできるまで」粘り強く指導していました。みんながそろりまでの待ち方や、毛布や布団のたたみ方、荷物の片付け方、個人のごみではないごみのとらえ方、借用している物品の返し方、一人一人がやるべきことをやりプラスαをすることで班や全体の動きをよくすること



【山の学習 川遊び】

など。炊飯活動やカヌー体験のような目立つ体験活動よりも、こちらの力の方がとても大切な力です。これをいい加減にすると、自分本位な行動が所々で表れます。先生たちは一度も大きな声で叱ることなく、事実を知らせ、人としてどうすべきかを考えさせ、できるようになってから次の活動へ進むようにしていました。時間がある山の学習だからこそできたことでもあります。

楽しい思い出とともに、何が大切なことかを考える機会が、この山の学習でしっかりありました。高学年として、そして社会の中でも、自分とまわりとの関係の中で生活していることがわからなければならない年齢になってきています。きっと今回の山の学習が、今後の学校生活や生活場面で、今はどうあるべきかを考える礎になったと思います。



【新たな「ちゅらぼ」を御紹介】

フラワー・ボランティア 渡辺さん

渡辺さんは、六ツ美中部学区にお住まいで、いけばなに取り組んでいらっしゃる方です。ある学校からの御紹介で、この6月から全くのボランティアで本校の玄関にいけばなを飾ってくださることになりました。ありがとうございます。不定期ではありますが、お立ち寄りの際は、ぜひ御覧ください。